

# さつき野 リ・クリエイト

—まちの魅力と可能性を考える—

## 01 さつき野リ・クリエイトって？

これからもさつき野が持続し、ますます発展していくためには、若い世帯の転入が望めます。そこで、私たちは若い人たちにさつき野に住みたい！と思ってもらうことを目指して、さつき野にある魅力を引き出し、今後の可能性を拓きます。同時にさつき野に住んでいるみなさんの生活がより豊かになるような新しい暮らし方を提案します。

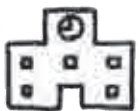
## 02 3つの新しい暮らし方の提案



**鳥と暮らす**  
さつき野の豊かな自然を活かす



**さつき野ライブラリ**  
本の循環からまちにきっかけを



**まちの下宿**  
学生と子ども、さつき野を繋ぐ

## 03 さつき野の資源

私たちが考える、もっと引き出していきたいさつき野の魅力的な資源



**住民** さつき野に住む皆さん自身が持っている知識、もの、コミュニティ



**自然** 豊かな自然と生き物たちによって、四季を感じるができる生活



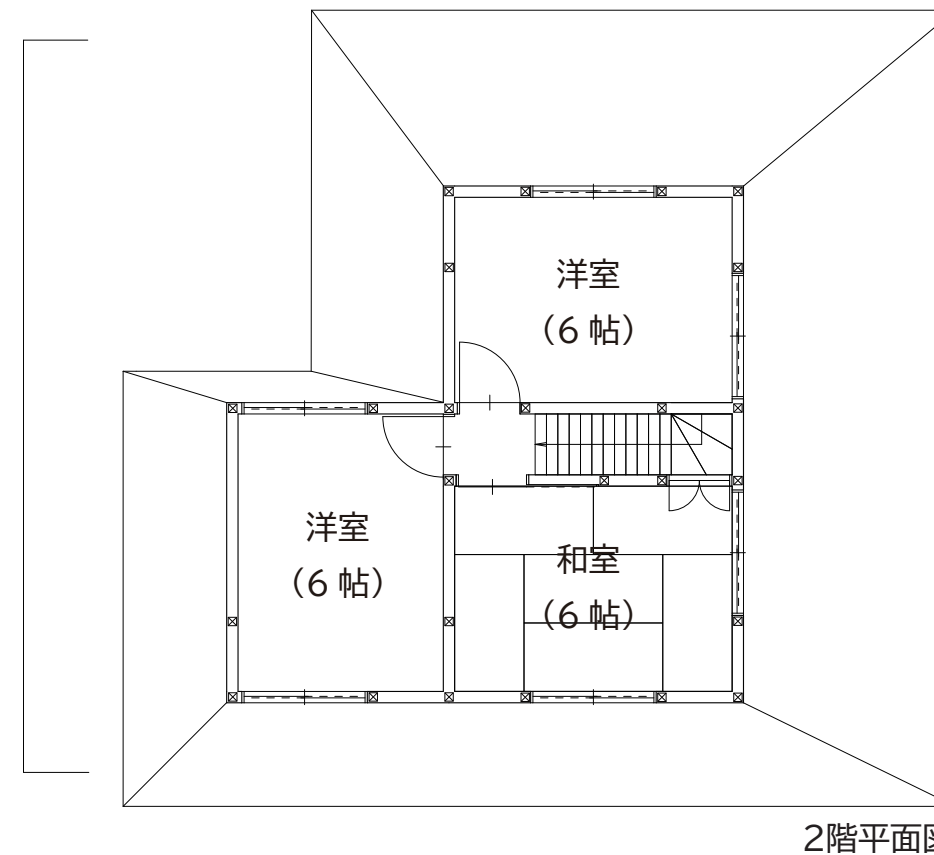
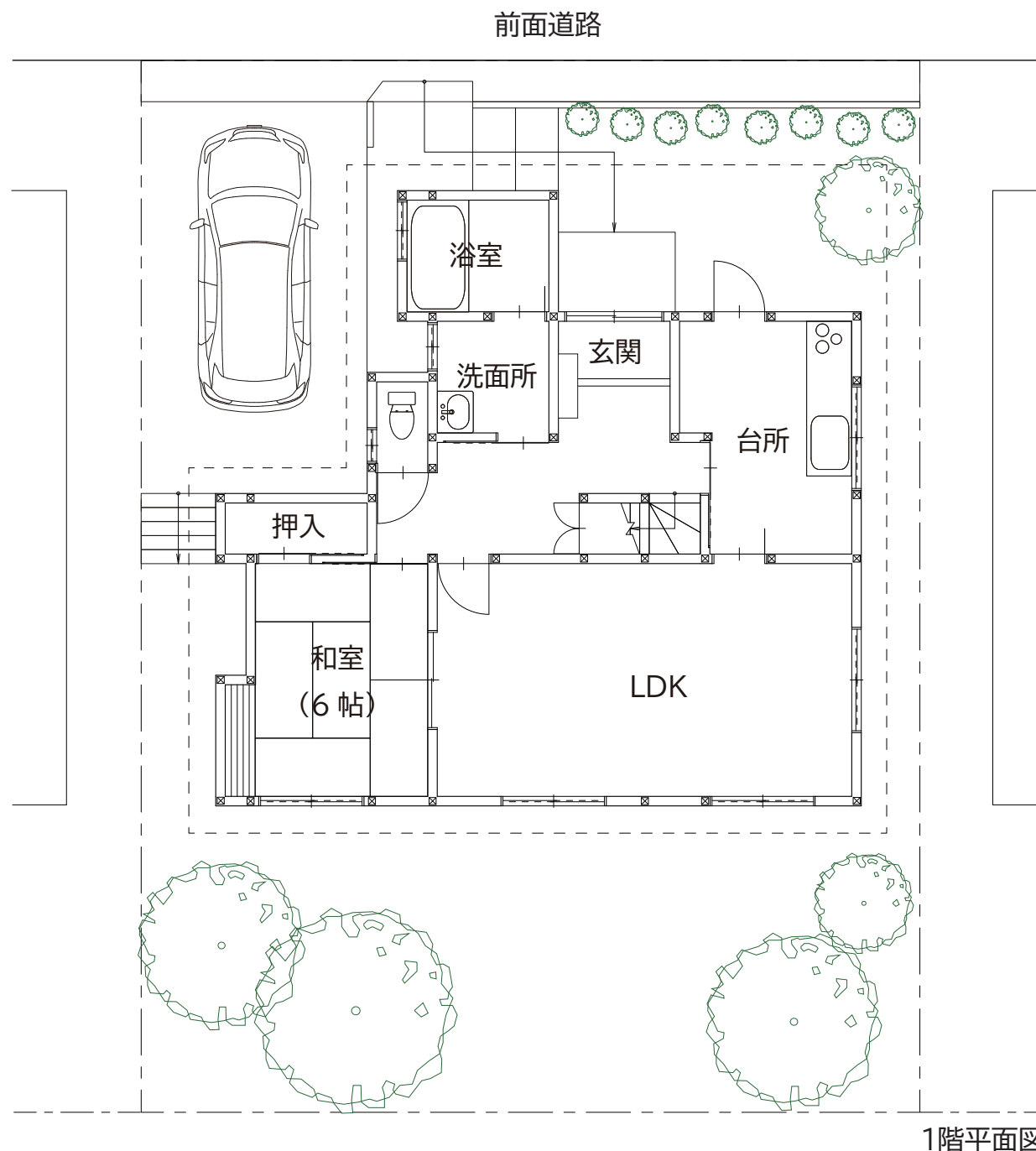
**教育** 小中一貫校さつき野学園と近隣には大学もある、まちが作る子育て環境



**街並み** 建築協定によって現在まで守られ続けている、きれいな街並み

## 04 既存のプラン

開発当初に分譲された典型的な間取りの戸建て住宅を基に、リノベーションの提案を行います。



間取り：4LDK 築年月：1986年3月  
土地面積：183.74㎡ 建築面積：92.00㎡

S=1:100

0 1 2 5(m)





# 鳥と暮らす

さつき野の豊かな自然を活かす

## 01 新しい暮らし方

鳥の鳴き声で目が覚めたり、野鳥を眺めながらコーヒーを飲んだり、まるで鳥と共生しているような生活を送ることができる。また、地域にひらいた前面の庭では、住民と一緒に巣箱づくりのイベントが行われる。さつき野ならではの野鳥との暮らしが、この住宅を中心に街へと広がっていく。



お父さん (37)  
お母さん (35)  
息子 (6)

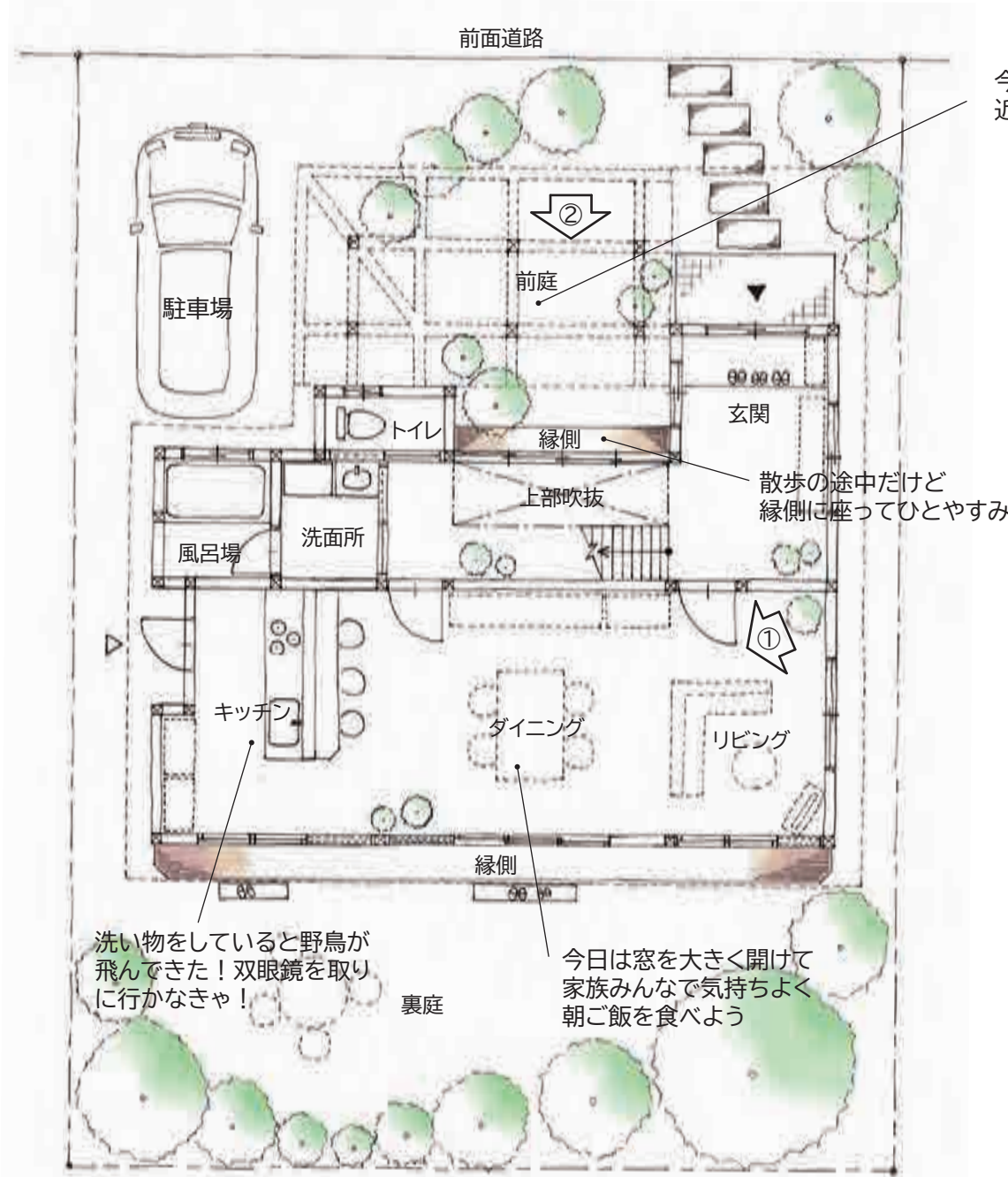
鳥や自然が好きな3人家族



① 住民と野鳥の暮らしをつなげる大きな開口

## 02 住宅のプラン

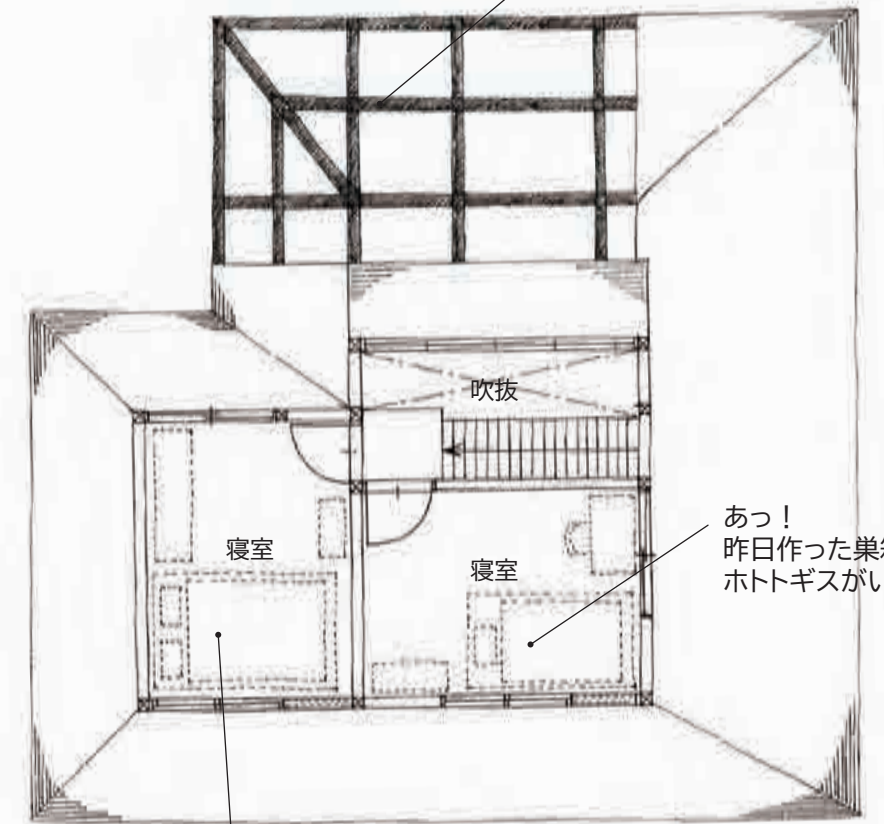
元の住宅を一部解体することで地域へ開放する前面の庭と、LDKと一体化したプライベートな裏庭を作り出す



1階平面図

今日は巣箱づくりの日！  
近所の子どもたちが集まる！

解体後に骨組みをのこして  
鳥も休憩できる場所に

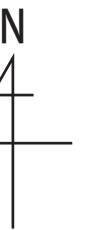


鳥の鳴き声が目覚まし時計代わり

2階平面図

S=1:100

0 1 2 5(m)



## 03 地域住民の交流の場



② 前庭と縁側で巣箱づくりのイベントを行う

## 04 まちなみとの調和



住民や鳥が気軽に立ち寄ることができ、この住宅が地域交流の拠点となる

## 05 まちへの効果



道には巣箱が並び、“鳥と暮らす”街並みをつくっていく

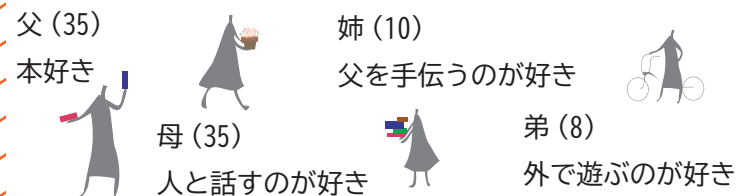


# さつき野ライブラリ

## 本の循環からまちにきっかけを

### 01 新しい暮らし方

子育て世代の夫婦が営む古本屋さん  
インターネット販売を軸とし、住民に向けては図書館として開放する。さつき野に眠る古本をツールとして子育て世代と高齢者を繋ぐきっかけとなる。本の他にも、駄菓子やお酒といった各世代にあわせたものを提供することで、目的をもって集まることができる。さつき野の人をつなぐ憩いの場に。

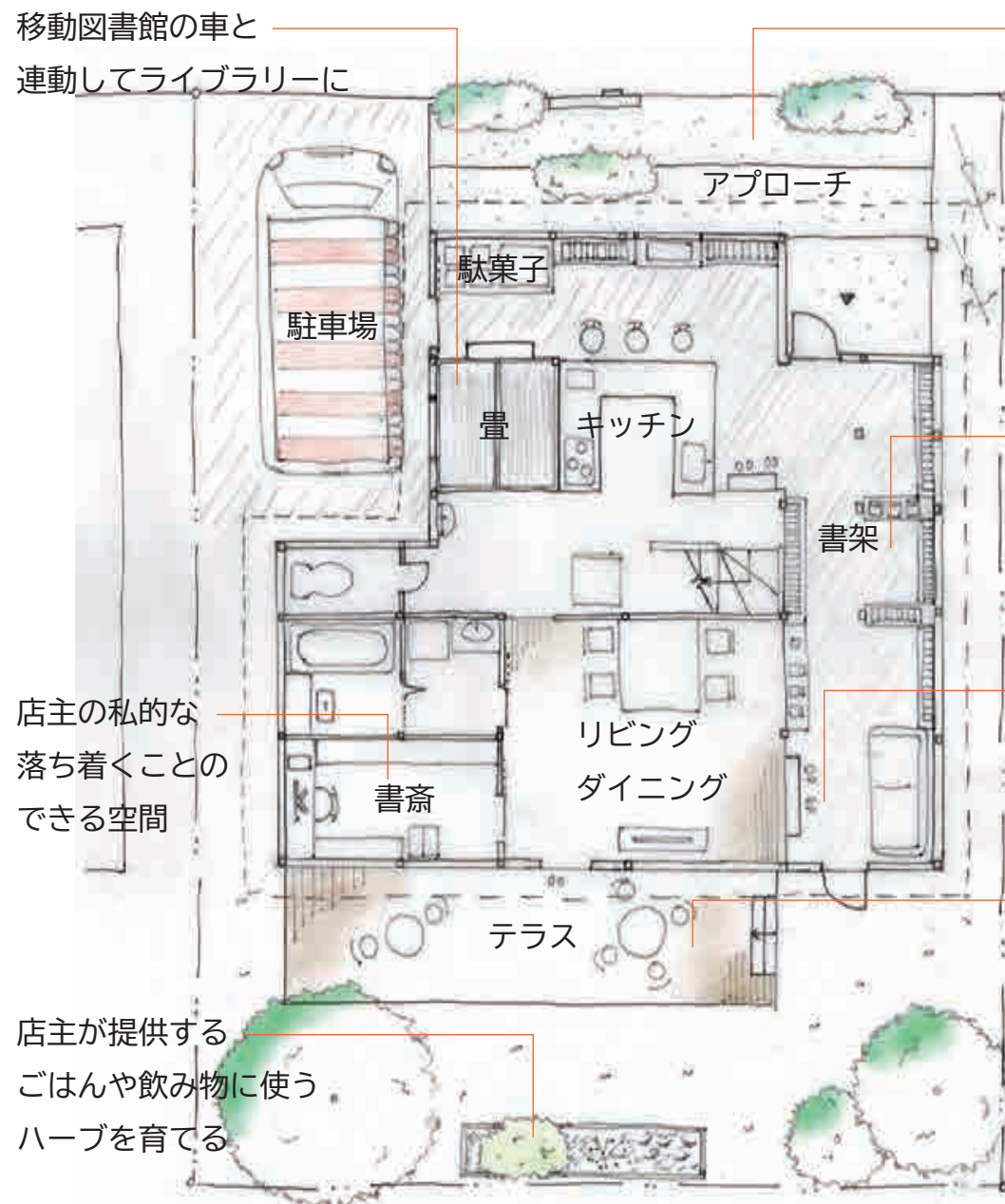


### 03 地域住民の交流の場

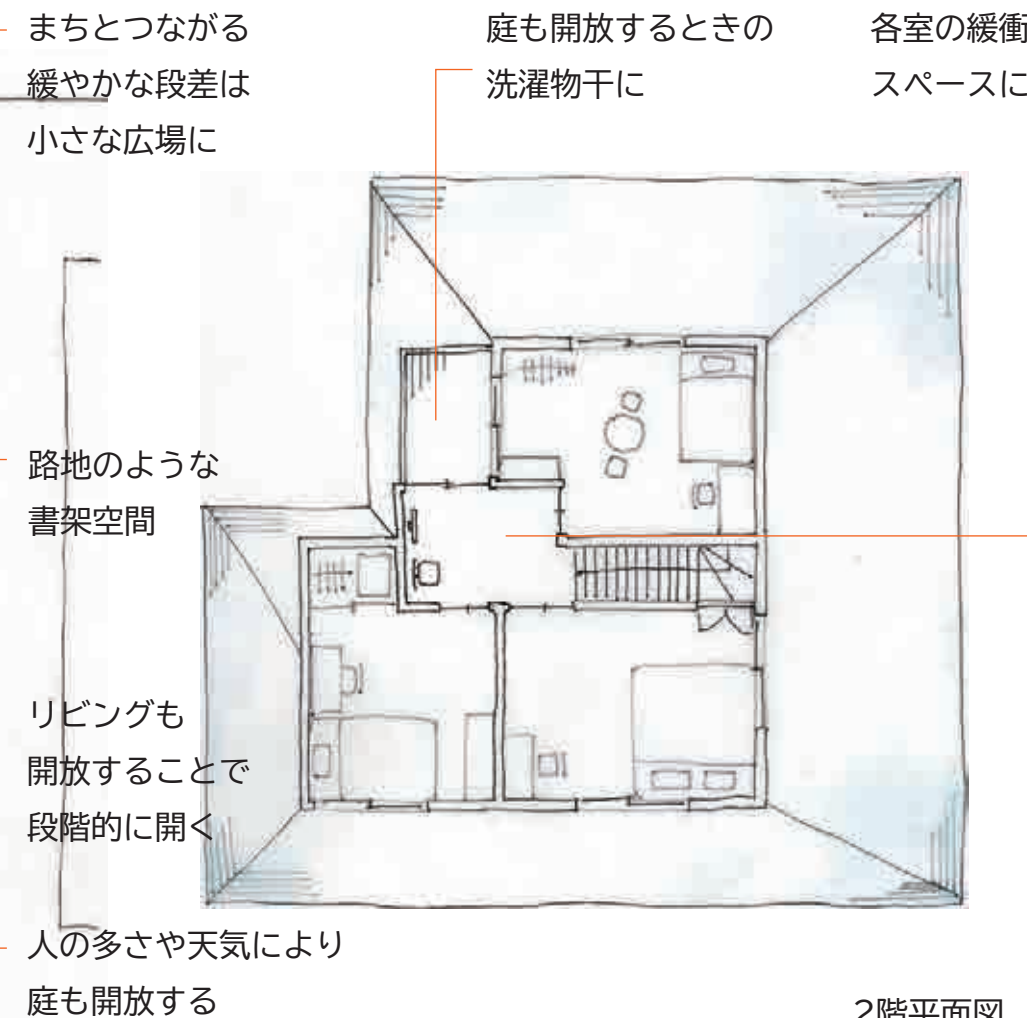


### 02 住宅のプラン

カウンターを中心とした多世代が過ごすことのできる多様な空間



1階平面図



2階平面図

S=1:100



### 04 まちなみとの調和

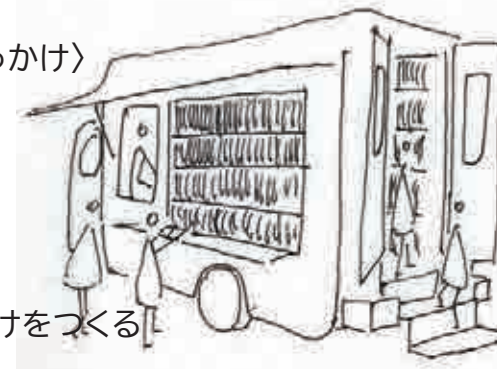
植栽を確保しつつ、まちに小さな広場として開く



### 05 まちへの効果

〈移動図書館によるきっかけ〉

月に数回か  
学校や、他のまちで  
移動図書館を行い、  
他のまちの住民たちが  
さつき野を知るきっかけをつくる





# まちの下宿

学生と子ども、さつき野を繋ぐ

## 01 新しい暮らし方

さつき野にほど近い、太成学院大学の学生が住む下宿。子ども好きな彼らの下宿は放課後になると子どもが集まる学童になる。大学生たちは子どもとの接し方を、子どもたちは大学生たちから勉強や遊びを互いに学びあう。更には、地域住民の皆さんは大学生たちの先生となり、暮らしの知恵を伝える。そんな新しいコミュニティが生まれる家。



## 03 地域住民の交流の場



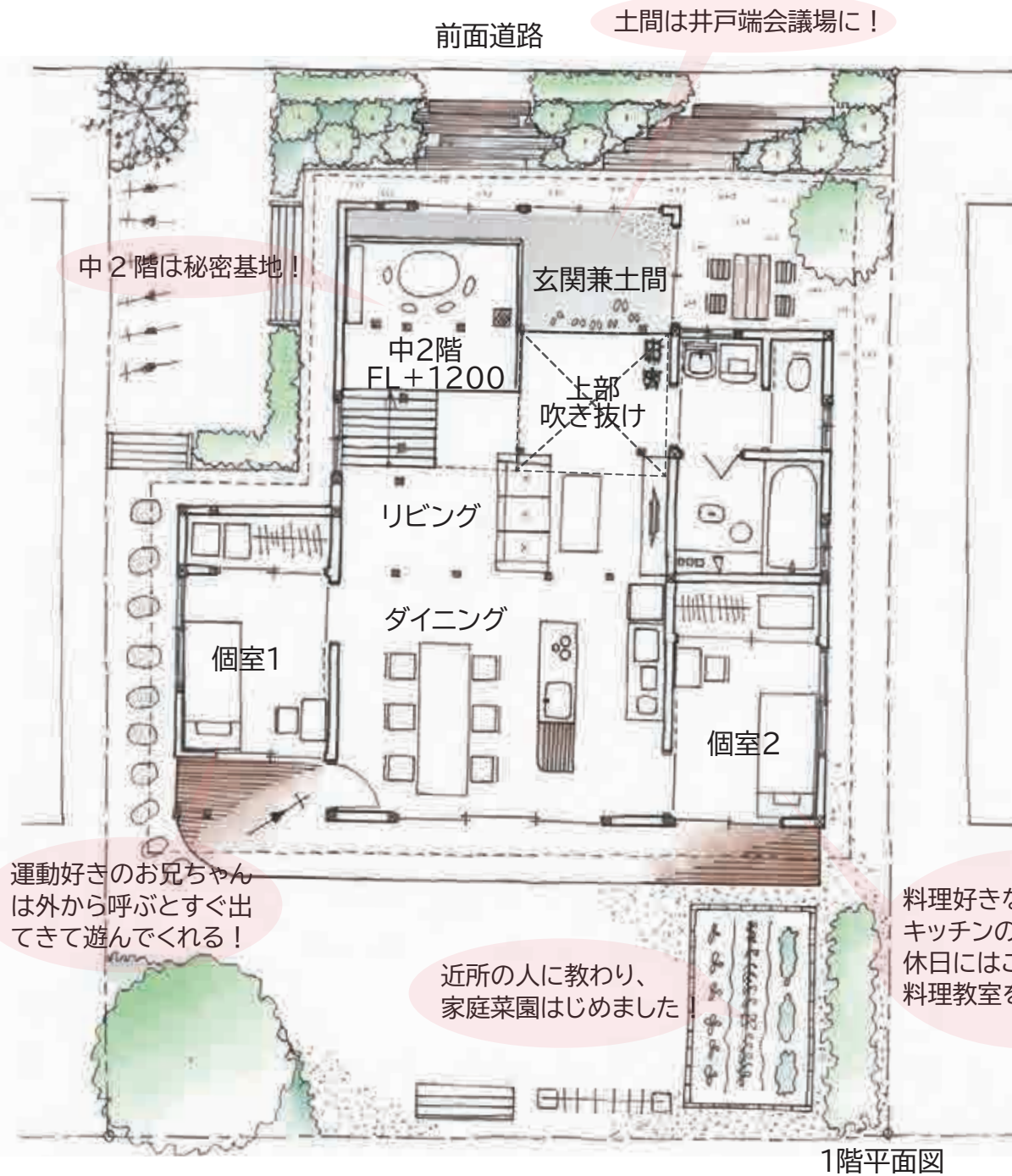
みんなで集まることができる土間とリビング



2階では子供たちが絵を描いたり、勉強をする

## 02 住宅のプラン

大学生の得意なものが各個室の近くにあり、大学生たちが得意を活かせるプラン



## 04 まちなみとの調和

現在のさつき野の街並みと調和しながらも、みんなが入りやすい開放的な外観



## 05 まちへの効果

下宿に住む学生が大学とまちの架け橋となり、学祭がまちを巻き込んで行われるなど、大学とまちの活動が混ざり合う。

下宿に住む学生

